

第 25 回 中小企業景況調査 (平成 22 年 4 月 6 月)

《調査結果の要約》

中小企業の業況は、わずかに悪化しています。

- ・全業種の業況判断 DI は、マイナス幅が拡大しました。(29.2 31.8)
- ・業種別にみると、以下のとおりです。
3 カ月前から好転 : 製造業、建設業、飲食業、サービス業
3 カ月前より悪化 : 小売業(最寄品)、小売業(買回品)

1. 全業種の業況判断 DI は、31.8(3 カ月前と比べ 2.6 ポイント)とわずかにマイナス幅が拡大しました。
2. 設備投資件数は、16 件(3 カ月前と比べ +8 件)となりました。1 年前の 17 件との比較では減少しました。
3. 経営上の問題点(回答社数に対する比率)は、 需要の停滞 : 63%(3 カ月前と比べ +7 ポイント)(69 社)、 利用者ニーズの変化 : 33%(3 カ月前と比べ +11 ポイント)(36 社)、 販売単価の低下・上昇難 : 27%(3 カ月前と比べ 9 ポイント)(30 社)の順です。

トピックス

- ・国内全産業の業況判断 DI は、30.8(3 カ月前と比べ +3.4 ポイント)とわずかにマイナス幅が縮小しました。
- ・神奈川県全産業の業況判断 DI は、56.9(3 カ月前と比べ +9.0 ポイント)とマイナス幅が縮小しました。業種別では、製造業でマイナス幅が縮小、建設業でマイナス幅が拡大、商業・サービス業でマイナス幅が縮小しました。

* 国内は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、神奈川県は財団法人 神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋

《調査要領》

1. 調査時点：平成22年7月現在
2. 調査対象：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から150企業を抽出

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	12	15	18	20	23	22	110
回答率	80.0%	100.0%	78.3%	66.7%	62.2%	73.3%	73.3%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（一部経営指導員による聞き取り）
4. 調査項目

- (1). DIの状況について
自社の業況 売上額 資金繰り 採算 従業員数
- (2). 設備投資について
- (3). 経営上の問題点について

5. 調査データについて

- (1). DI：Diffusion Index（ディフュージョンインデックス・景気動向指数）の略。
各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。
- (2). データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。
 - ・四半期；1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」
 - ・前期比；3ヵ月前との比較
 - ・前年同期比；1年前との比較

<DI計算例>

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30%
の場合、次のような計算になります。

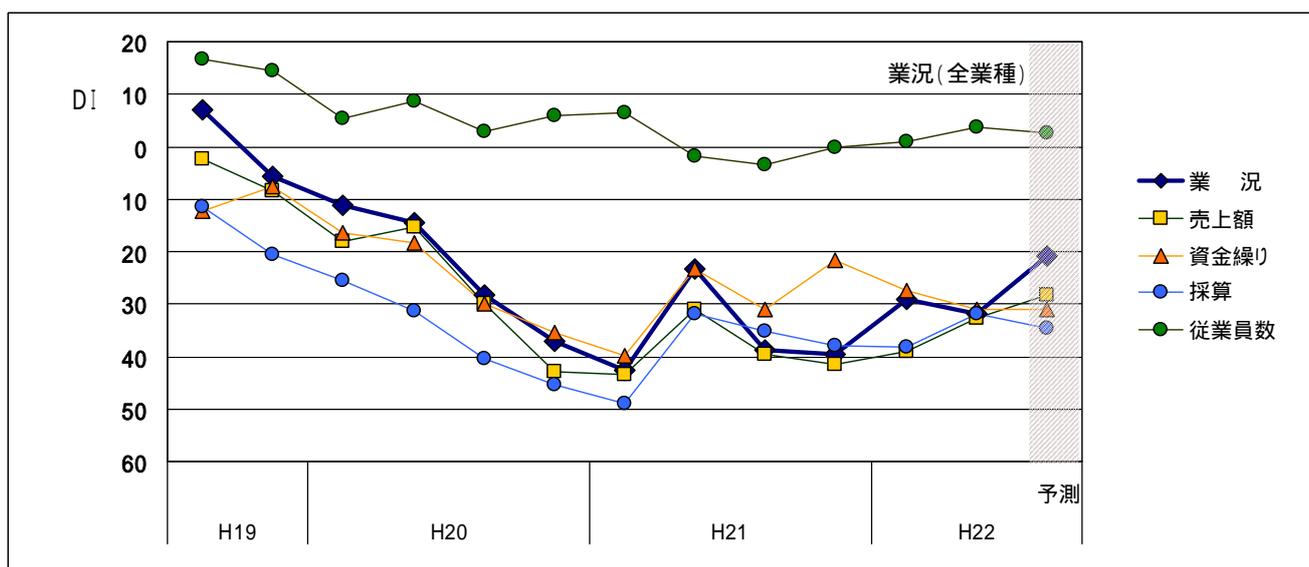
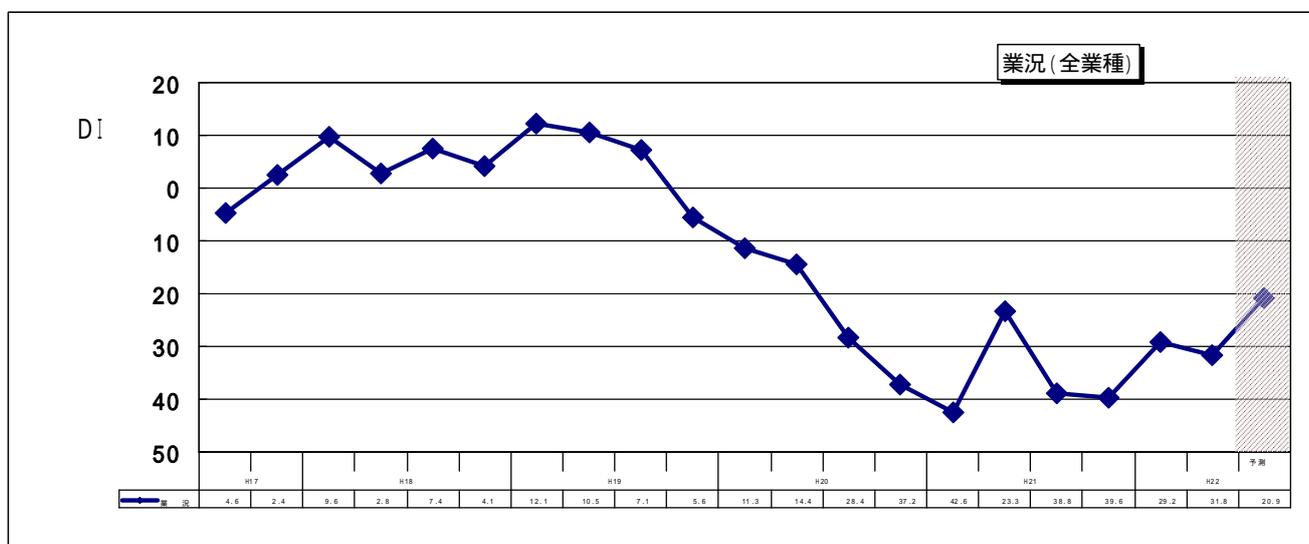
$$DI = 50 - 30 = 20$$

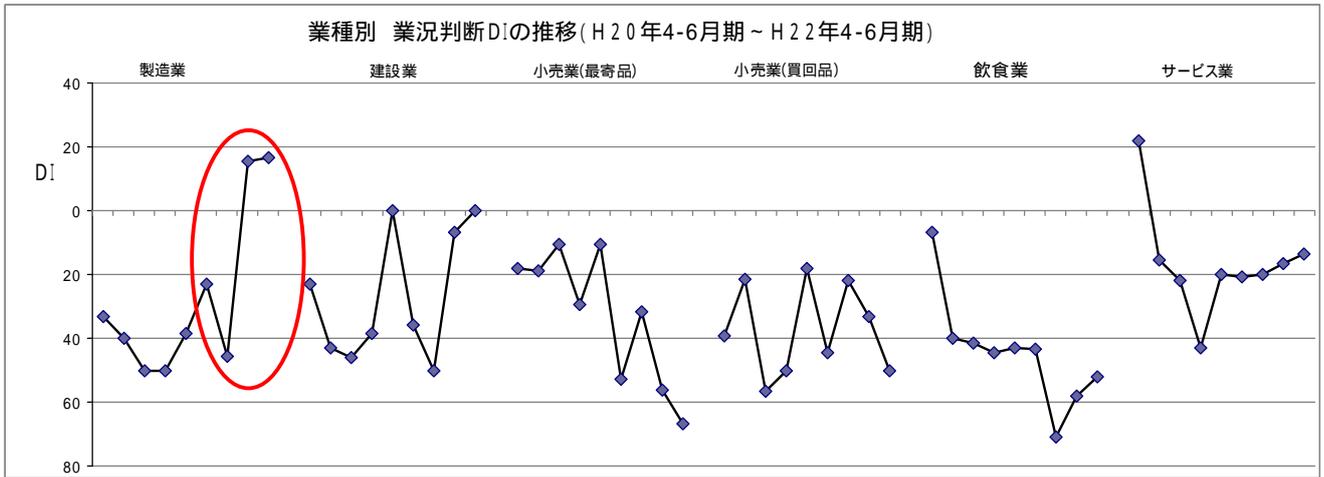
《調査結果》

. 全業種

業況 DI

- ・全業種の業況判断 DI は 31.8 (前期比 2.6 ポイント) とわずかにマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 20.9 と改善の見通しです。
 - ・売上 DI は 32.7 (前期比 +6.2 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 28.2 と改善の見通しです。
 - ・資金繰り DI は 30.9 (前期比 3.5 ポイント) とわずかにマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 30.9 と横ばいの見通しです。
 - ・採算 DI は 31.8 (前期比 +6.3 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 34.5 と悪化の見通しです。
 - ・従業員数 DI は +3.6 (前期比 +2.7 ポイント) とわずかに人手不足感が強まり、3 ヶ月先は +2.7 と人手不足感が弱まる見通しです。
- ・業種別の業況判断 DI は、製造業でプラス幅が改善し、建設業で±0 に改善し、飲食業、サービス業でマイナス幅が縮小し、小売業(最寄品)、小売業(買回品)でマイナス幅が拡大しました。



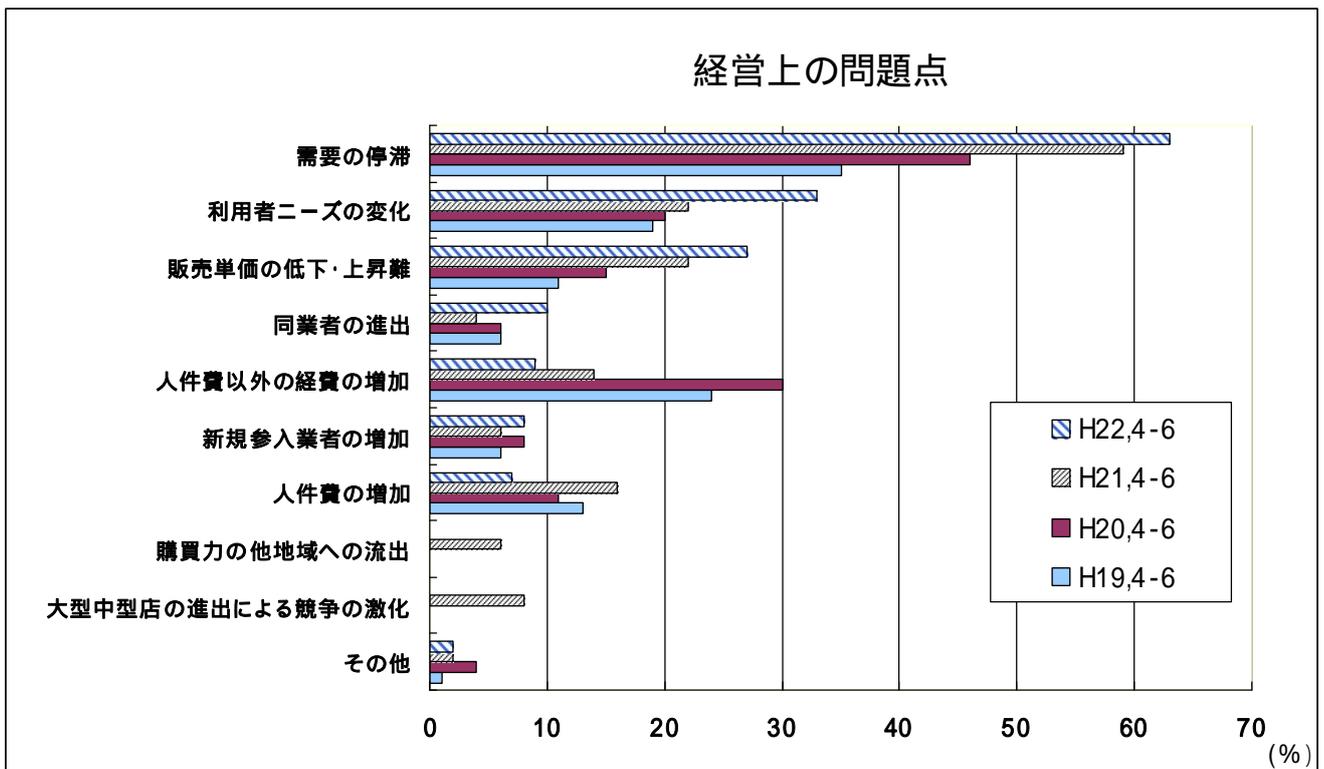


設備投資の動向

- ・設備投資件数は、16件（3カ月前と比べ+8件）となりました。1年前の17件との比較では減少しました。内訳の上位は、OA機器7件、機械設備4件、車両運搬具3件です。

経営上の問題点

- ・経営上の問題点は、 需要の停滞：63%（69社）、 利用者ニーズの変化：33%（36社）、 販売単価の低下・上昇難：27%（30社）の順です。

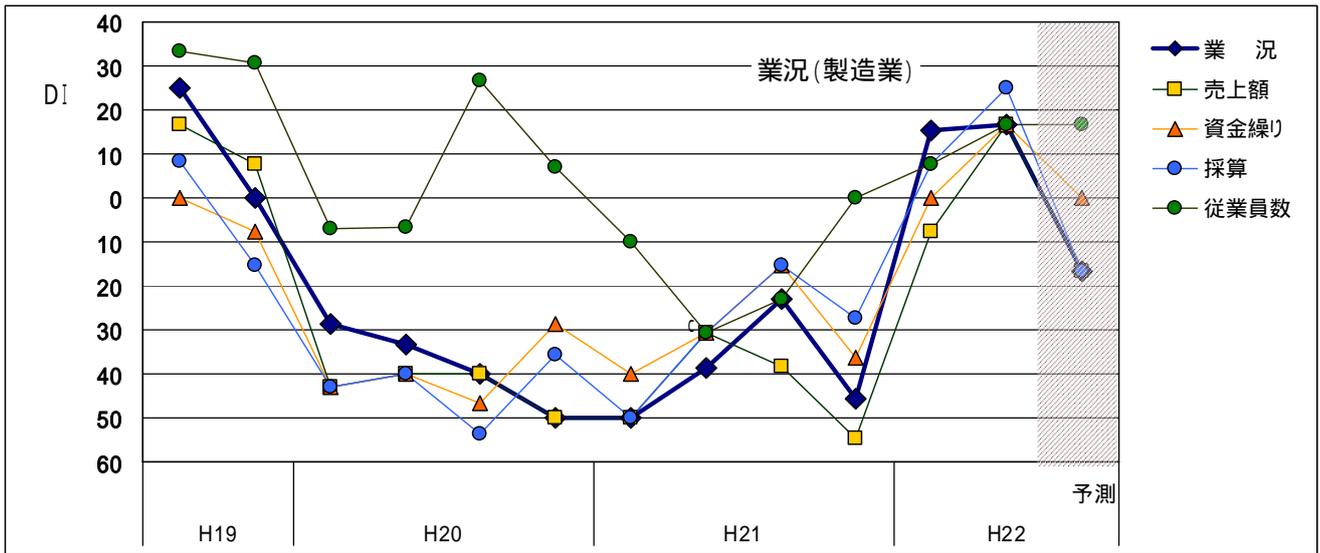


業種別

1. 製造業

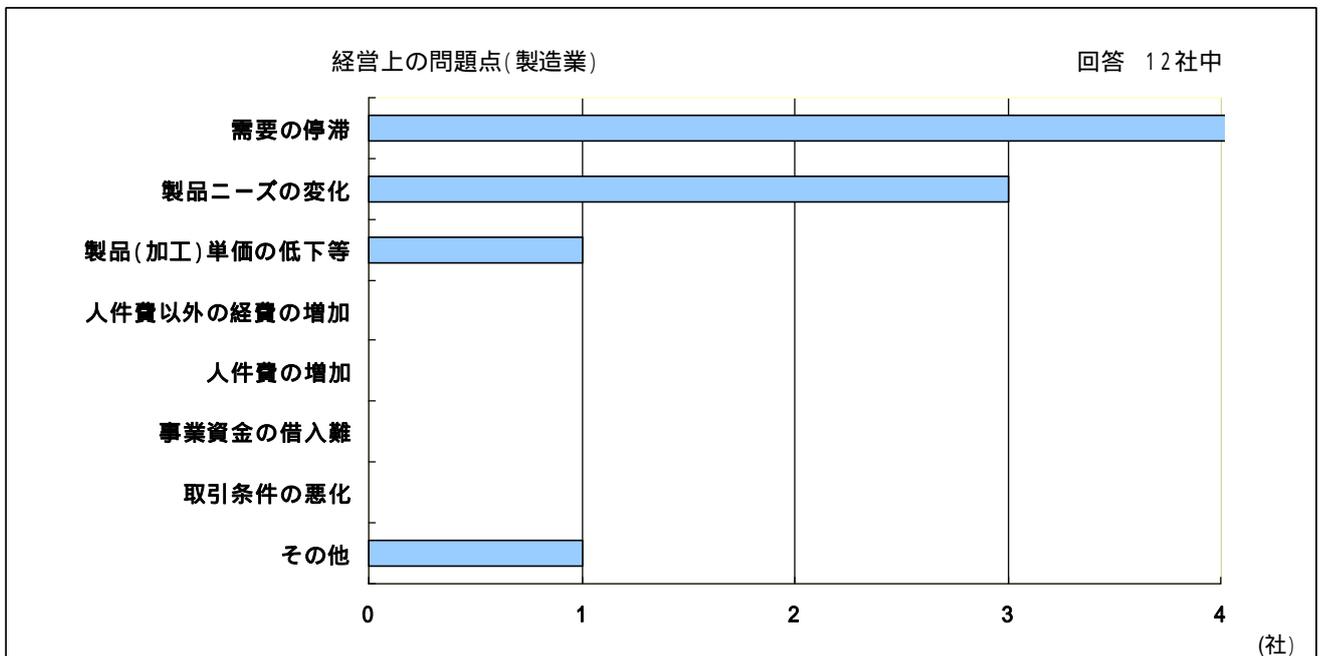
業況 DI

- ・業況判断 DI は + 16.7 (前期比 + 1.3 ポイント) とわずかにプラス幅が拡大し、3 ヶ月先は 16.7 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は + 16.7 (前期比 + 24.4 ポイント) とマイナスからプラスに大きく改善し、3 ヶ月先は 16.7 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は + 16.7 (前期比 + 16.7 ポイント) とプラスに転じましたが、3 ヶ月先は ± 0 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は + 25.0 (前期比 + 17.3 ポイント) とプラス幅が拡大しましたが、3 ヶ月先は 16.7 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は + 16.7 (前期比 + 9.0 ポイント) と人手不足感が強まり、3 ヶ月先は + 16.7 と横ばいの見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数はO A 機器 1 件、建物 1 件です。

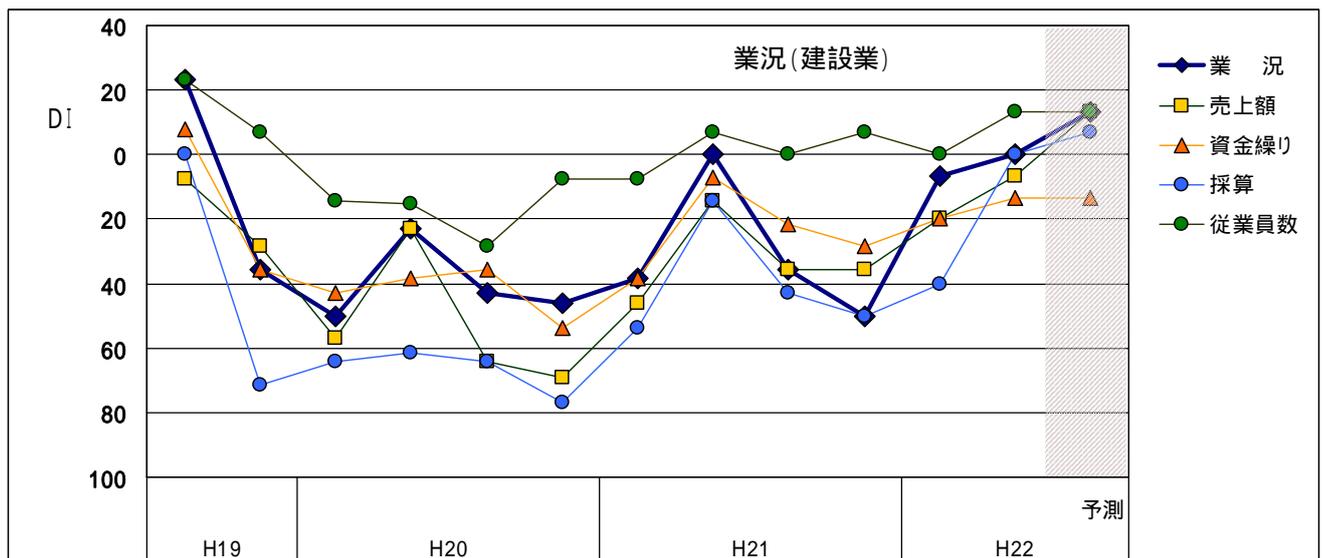
経営上の問題点



2. 建設業

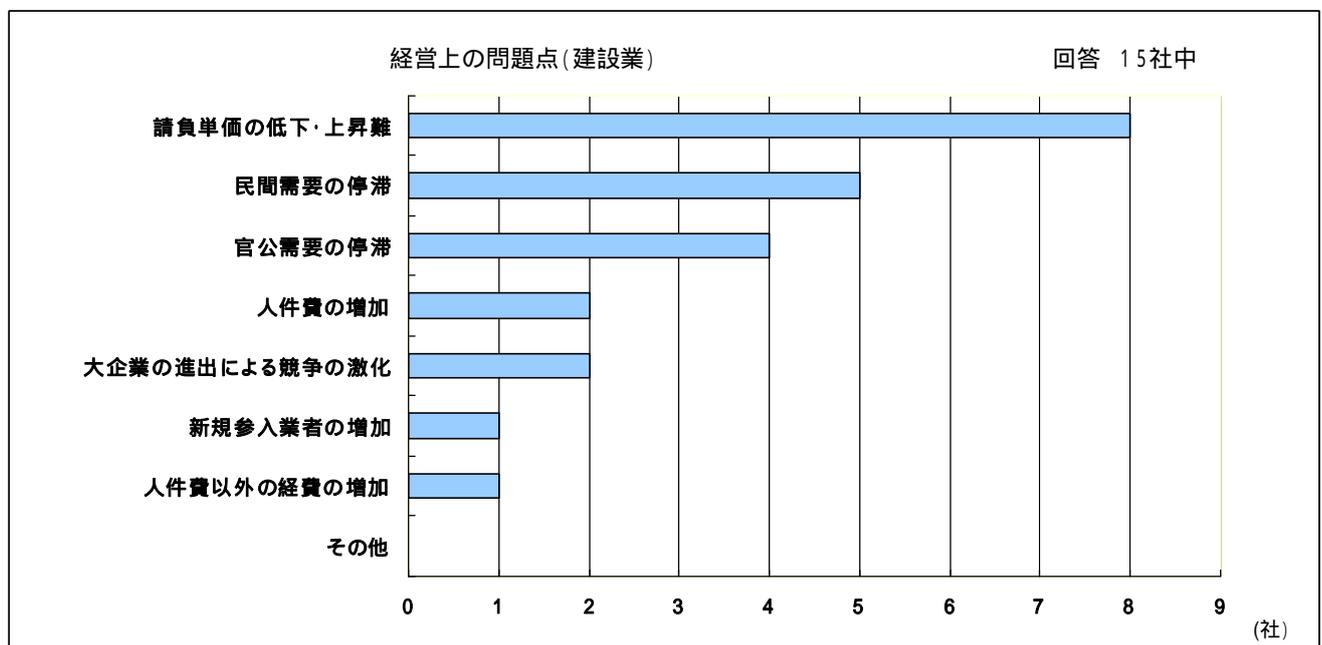
業況 DI

- ・業況判断 DI は ± 0 (前期比 + 6.7 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は + 13.3 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 6.7 (前期比 + 13.3 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は + 13.3 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 13.3 (前期比 + 6.7 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 13.3 と横ばいの見通しです。
- ・採算 DI は ± 0 (前期比 + 40.0 ポイント) とマイナス幅が大幅に縮小し、3 ヶ月先は + 6.7 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は + 13.3 (前期比 + 13.3 ポイント) と人手不足感が強まり、3 ヶ月先は + 13.3 と横ばいの見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数はO A 機器 1 件、車両運搬具 1 件です。

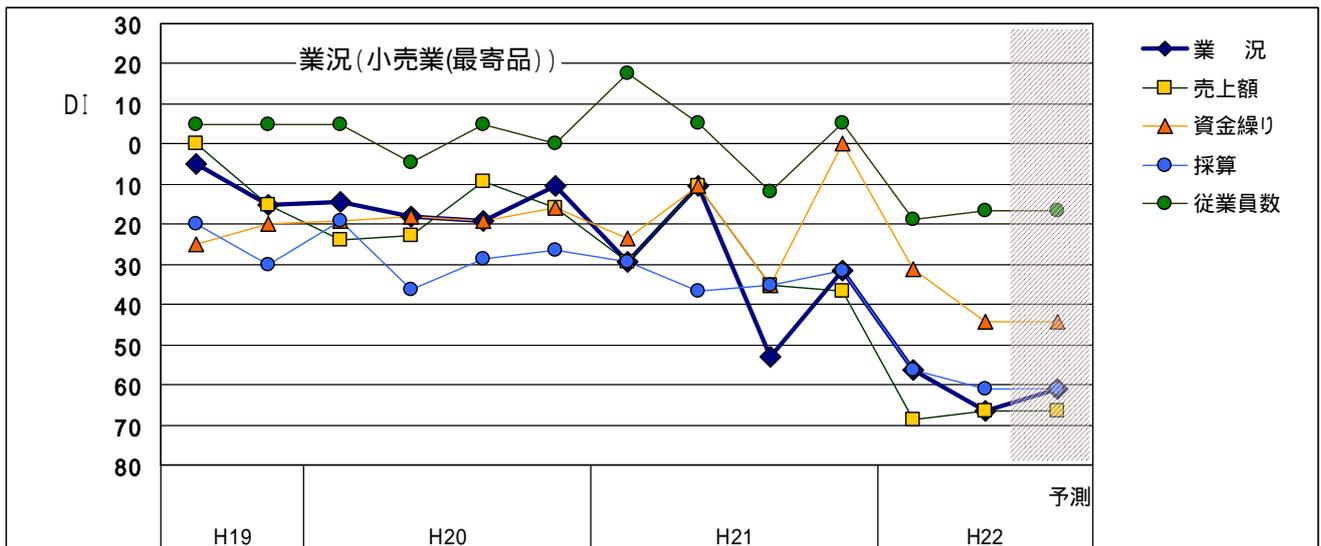
経営上の問題点



3. 小売業（最寄品）

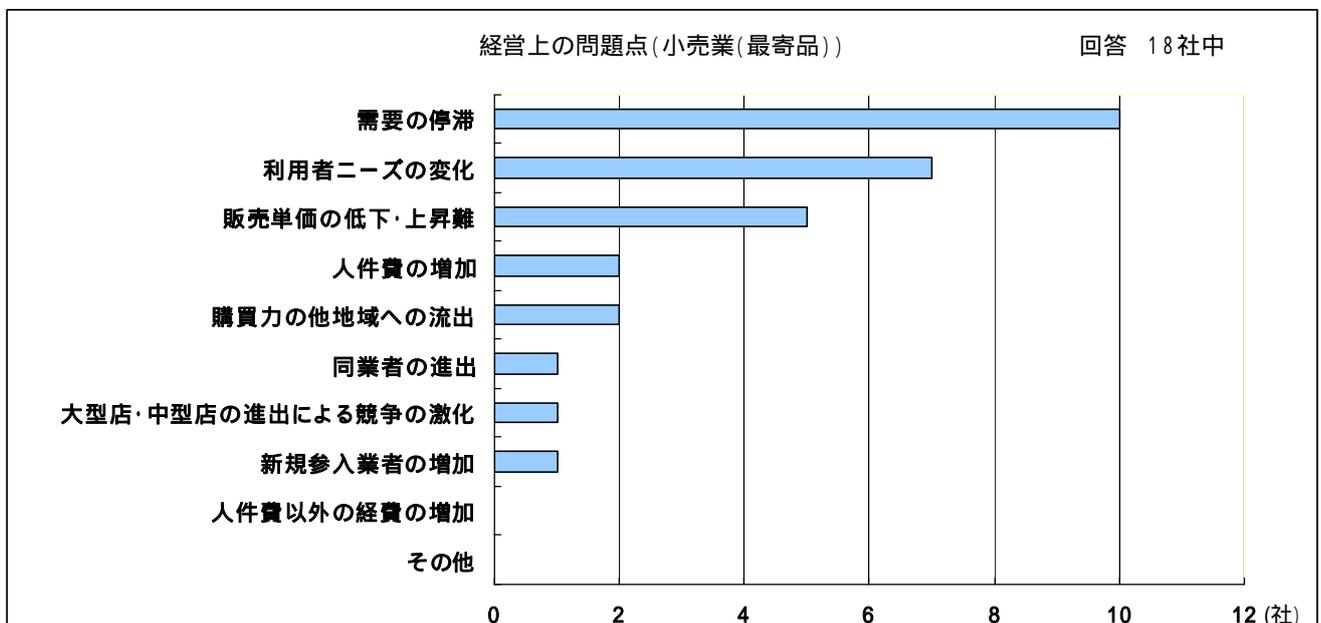
業況 DI

- ・業況判断 DI は 66.7（前期比 10.4 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 61.1 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 66.7（前期比 +2.1 ポイント）とわずかにマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 66.7 と横ばいの見通しです。
- ・資金繰り DI は 44.4（前期比 13.1 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 44.4 と横ばいの見通しです。
- ・採算 DI は 61.1（前期比 4.8 ポイント）とわずかにマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 61.1 と横ばいの見通しです。
- ・従業員 DI は 16.7（前期比 +2.1 ポイント）と人手過剰感がわずかに弱まり、3 ヶ月先は 16.7 と横ばいの見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数はO A 機器 1 件と機械設備 1 件です。

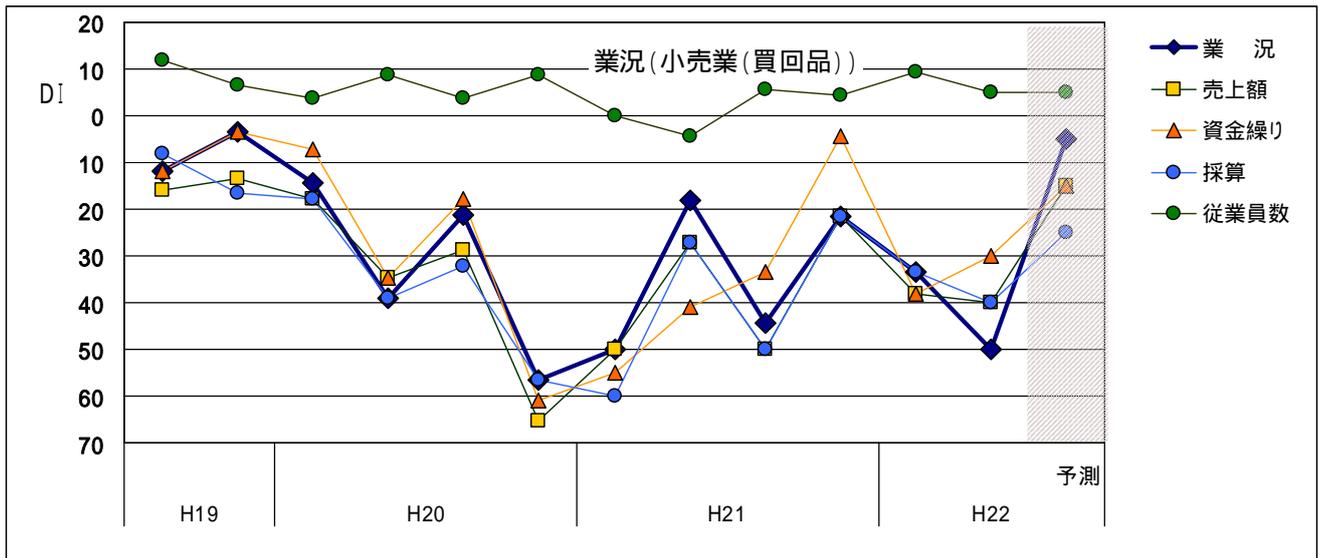
経営上の問題点



4. 小売業（買回品）

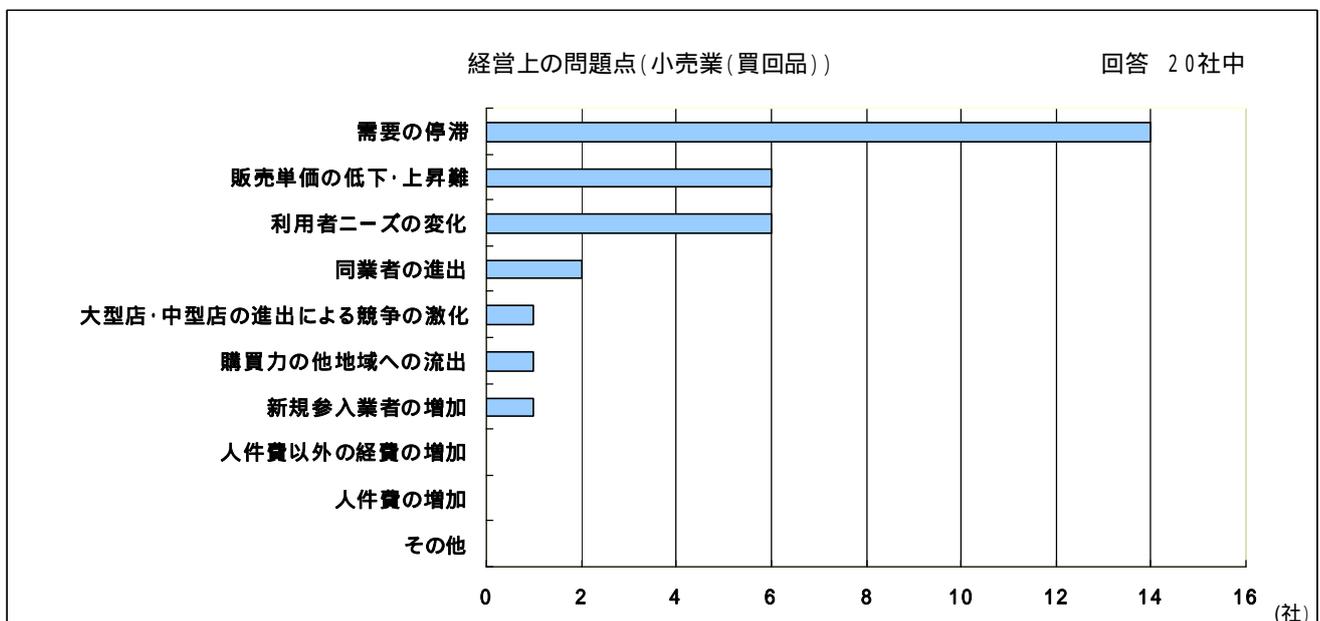
業況 DI

- ・業況判断 DI は 50.0（前期比 16.7 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 5.0 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 40.0（前期比 1.9 ポイント）とわずかにマイナス幅が拡大しますが、3 ヶ月先は 15.0 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 30.0（前期比 +8.1 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 15.0 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 40.0（前期比 6.7 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 25.0 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は +5.0（前期比 4.5 ポイント）とわずかに人手不足感が弱まり、3 ヶ月先は +5.0 と横ばいの見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数はO A 機器 2 件と車両運搬具 1 件です。

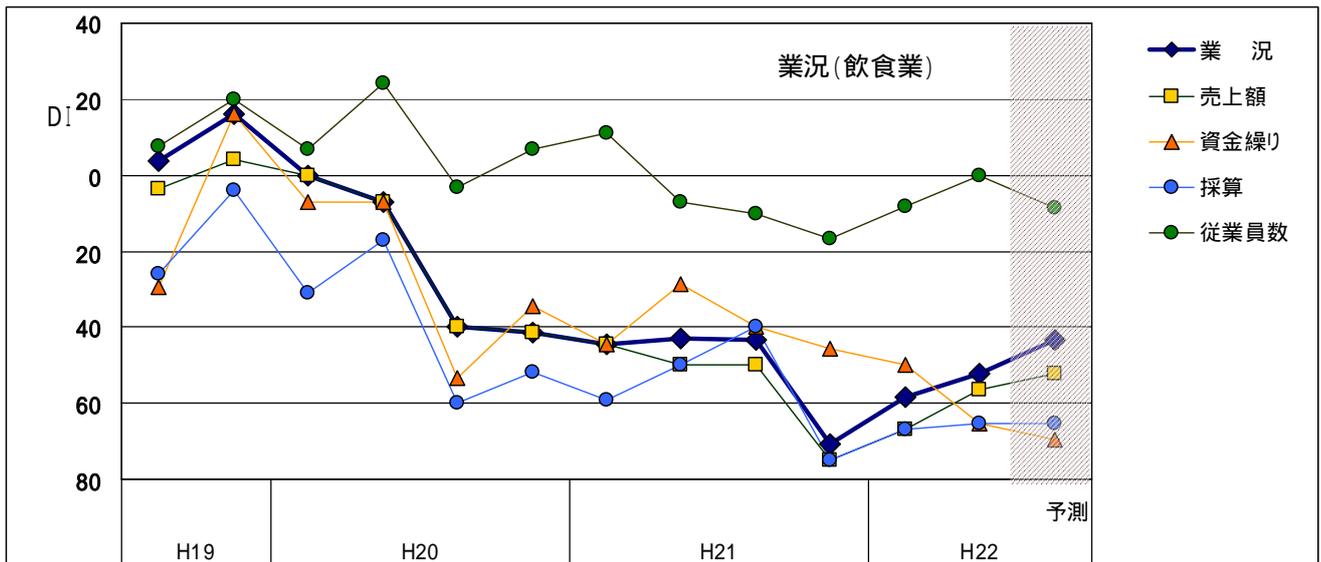
経営上の問題点



5. 飲食業

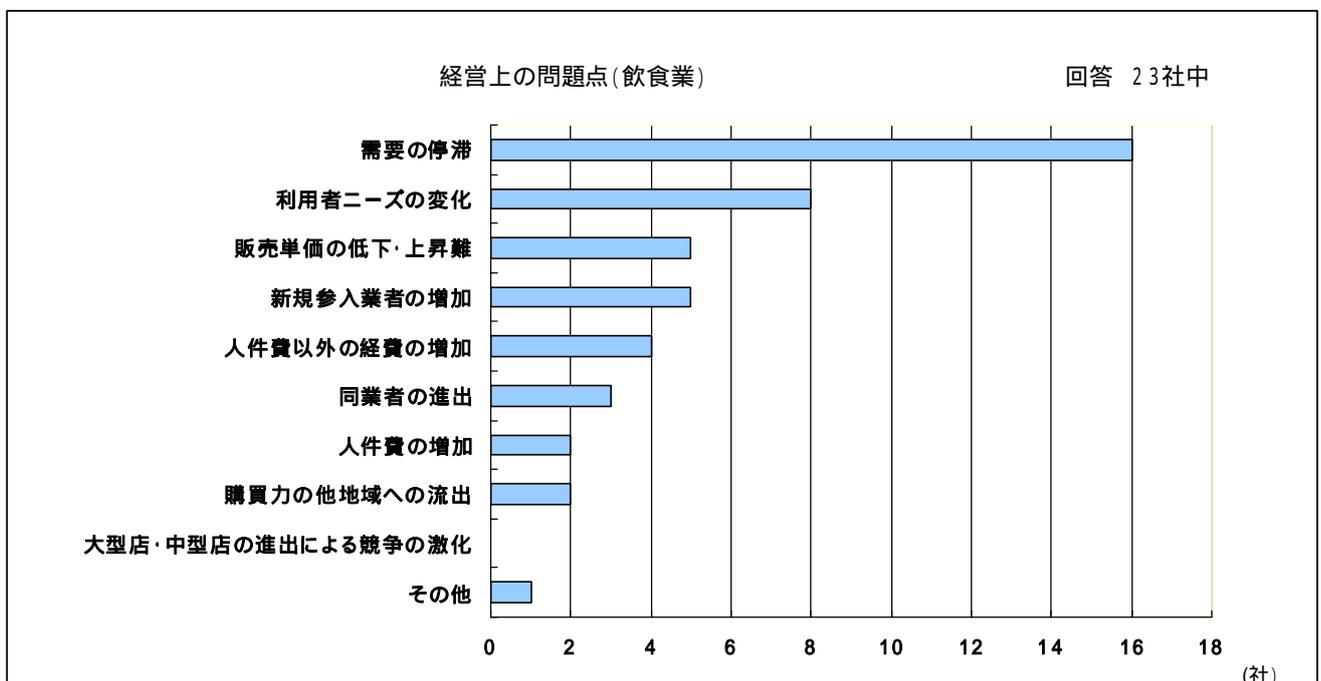
業況 DI

- ・業況判断 DI は 52.2 (前期比 +6.1 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 43.5 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 56.5 (前期比 +10.2 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 52.2 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 65.2 (前期比 15.2 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 69.6 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は 65.2 (前期比 +1.5 ポイント) とわずかにマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 65.2 と横ばいの見通しです。
- ・従業員数 DI は ±0 (前期比 +8.3 ポイント) と人手過剰感がなくなり、3 ヶ月先は 8.7 と人手過剰感が強まる見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数は機械設備 3 件、O A 機器 1 件です。

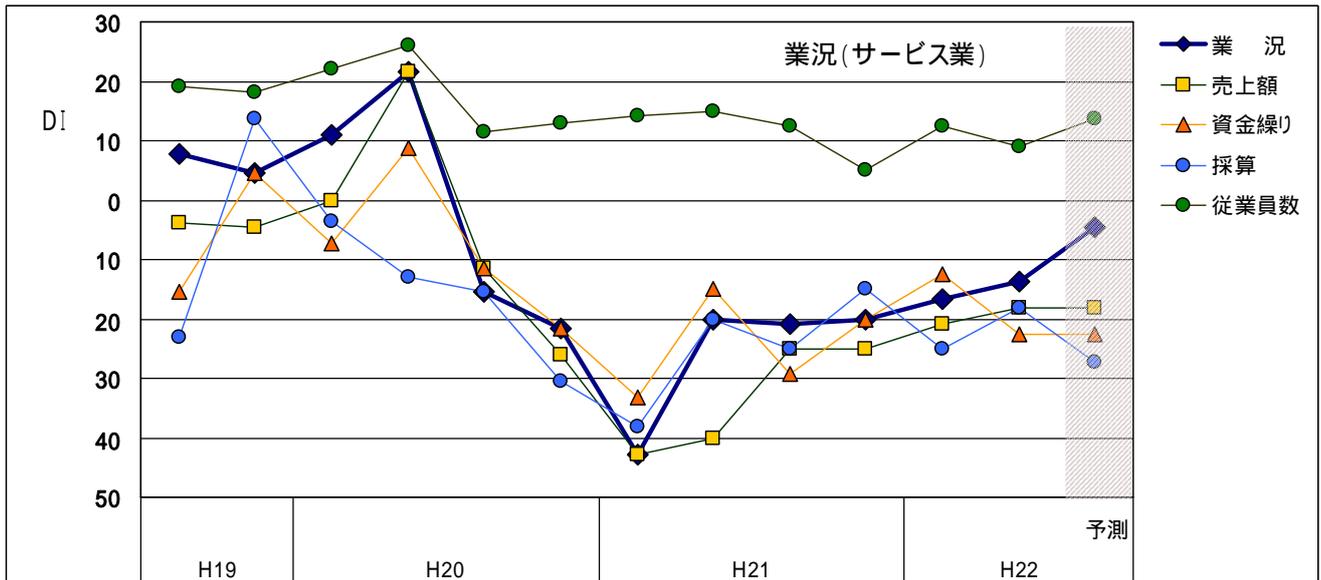
経営上の問題点



6. サービス業

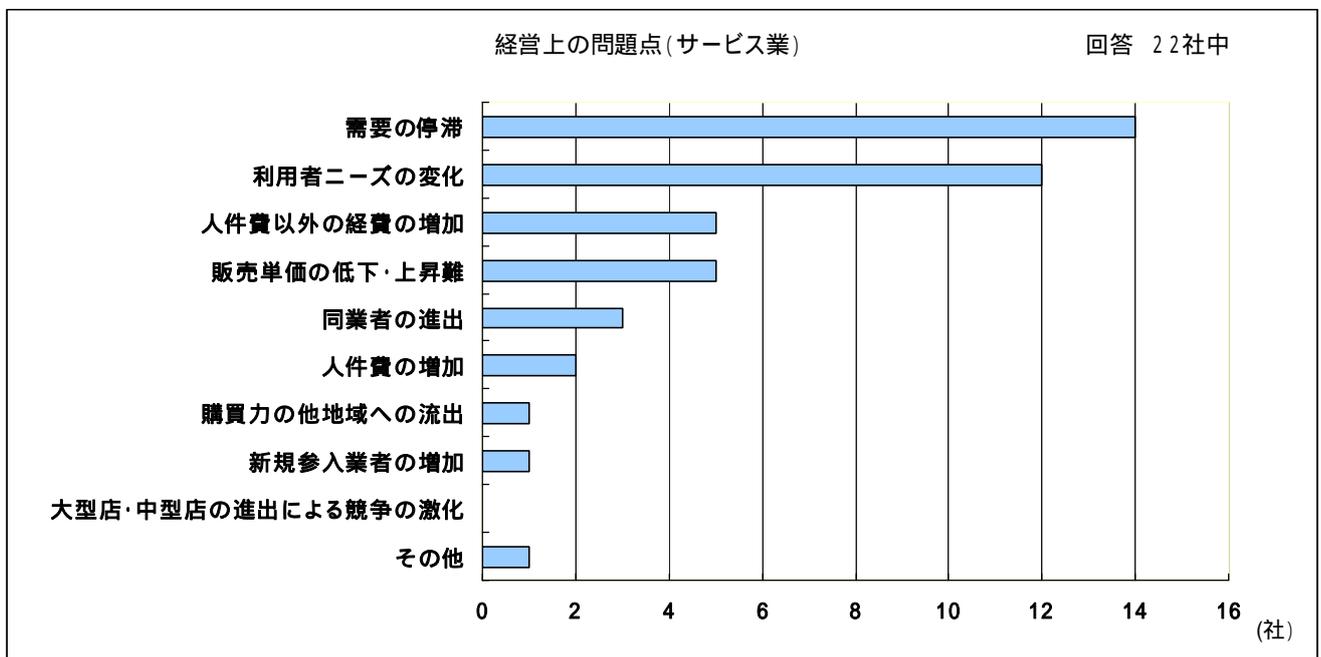
業況 DI

- ・業況判断 DI は 13.6 (前期比 + 3.1 ポイント) とわずかにマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 4.5 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 18.2 (前期比 + 2.6 ポイント) とわずかにマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 18.2 と横ばいの見通しです。
- ・資金繰り DI は 22.7 (前期比 10.2 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 22.7 と横ばいの見通しです。
- ・採算 DI は 18.2 (前期比 + 6.8 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 27.3 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は +9.1 (前期比 3.4 ポイント) と人手不足感が弱まり、3 ヶ月先は +13.6 と人手不足感が強まる見通しです。

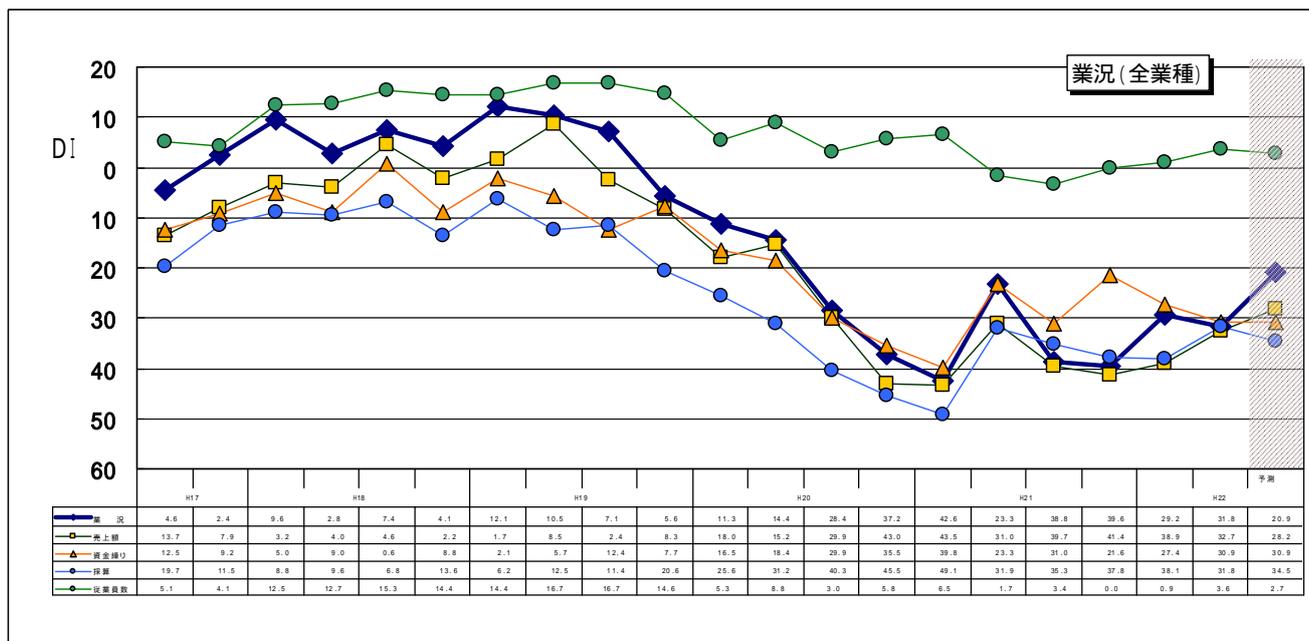


設備投資の動向 設備投資件数はOA機器 1 件と車両運搬具 1 件、その他 1 件です。

経営上の問題点



《資料》
業況



雑談コラム

8月は全国甲子園大会をテレビ観戦して、出身県代表が活躍する姿に感動する方も多いと思います。もし高校野球の女子マネジャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら(岩崎夏海著)が若いビジネスマンに人気になっていると聞き、さっそく読んでみました。

ドラッカーは2005年に96歳で亡くなった米国が生んだ20世紀最高の知性の一人といわれています。代表的な著書が1973年に出版された「マネジメント」という本でしょう。

このドラッカーはビジネス界にもっとも影響力をもつ思想家として知られています。東西冷戦の終結、転換期の到来、社会の高齢化をいち早く知らせるとともに、「分権化」「目標管理」「経営戦略」「民営化」「顧客第1」「情報化」「知識労働者」「ABC管理」「ベンチマーク」「コアコンピタンス」などの言葉を生み出し、説いてきたといわれています。

高校野球の女子マネジャーとドラッカーを結びつけたアイデアがこの本の著者のすごさであると思います。主人公の女子マネジャー川島みなみは、マネジメントとは？ 真摯さとは？ イノベーションとは？ 強みを活かすとは？ 目標管理とは？ に直面し苦悩し、そして答えを見つけます。

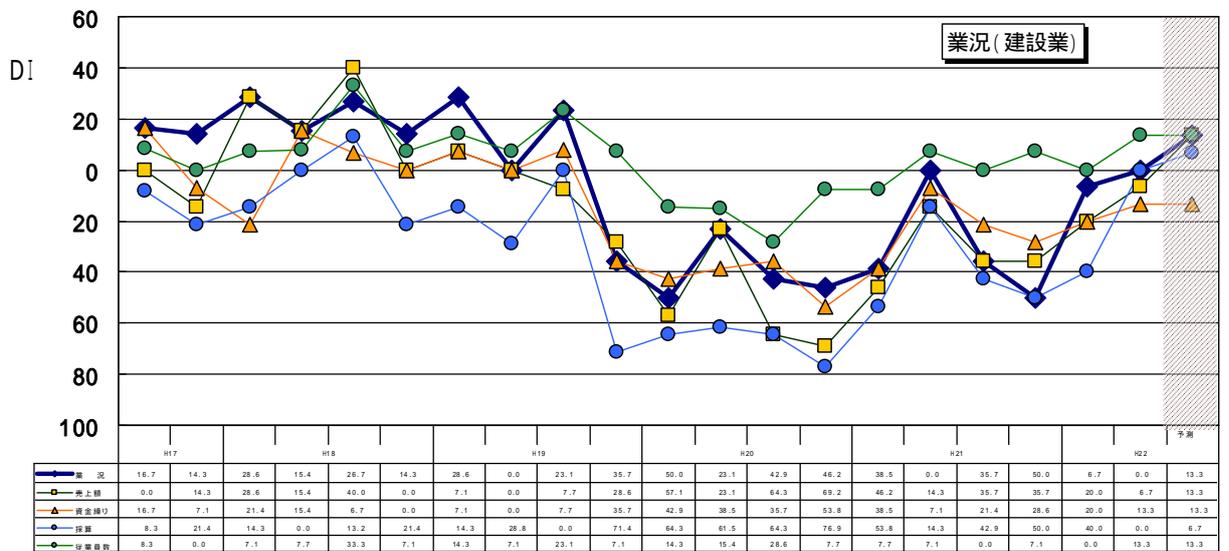
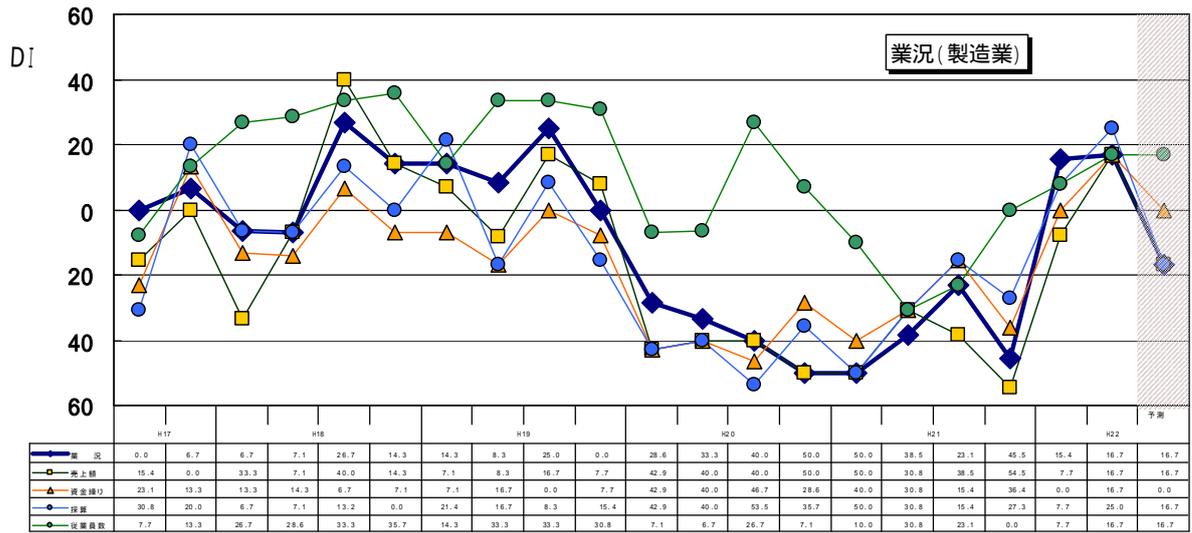
みなみが気に入ったドラッカーの言葉の2つを紹介します。

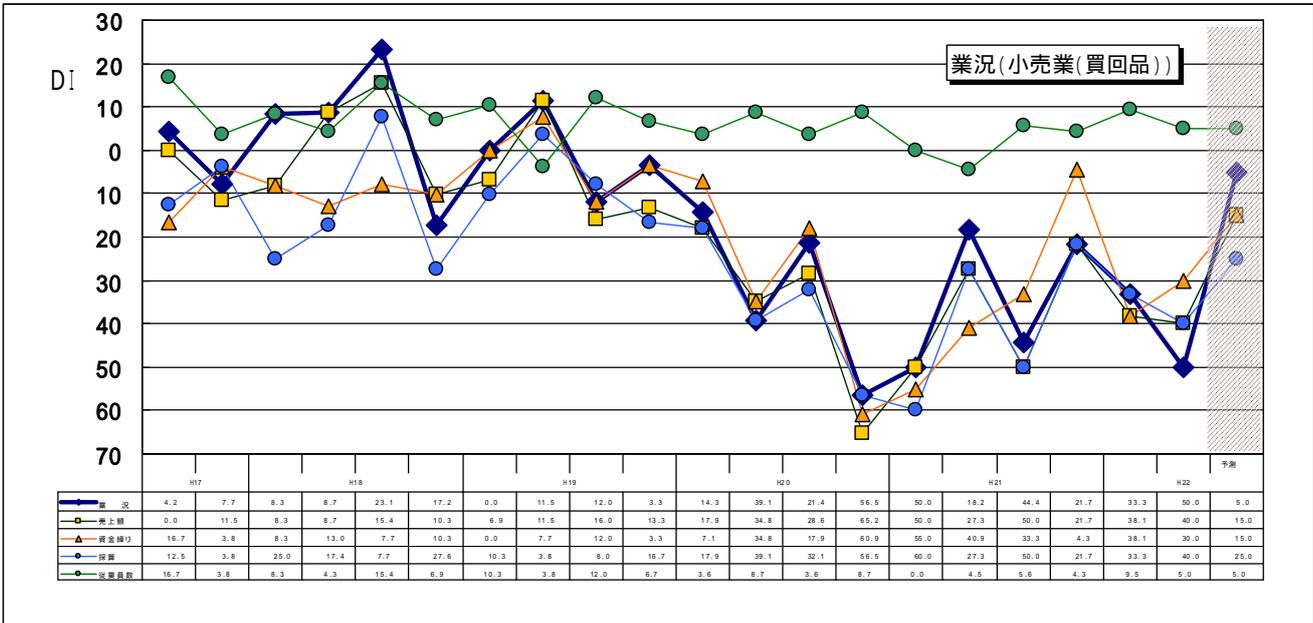
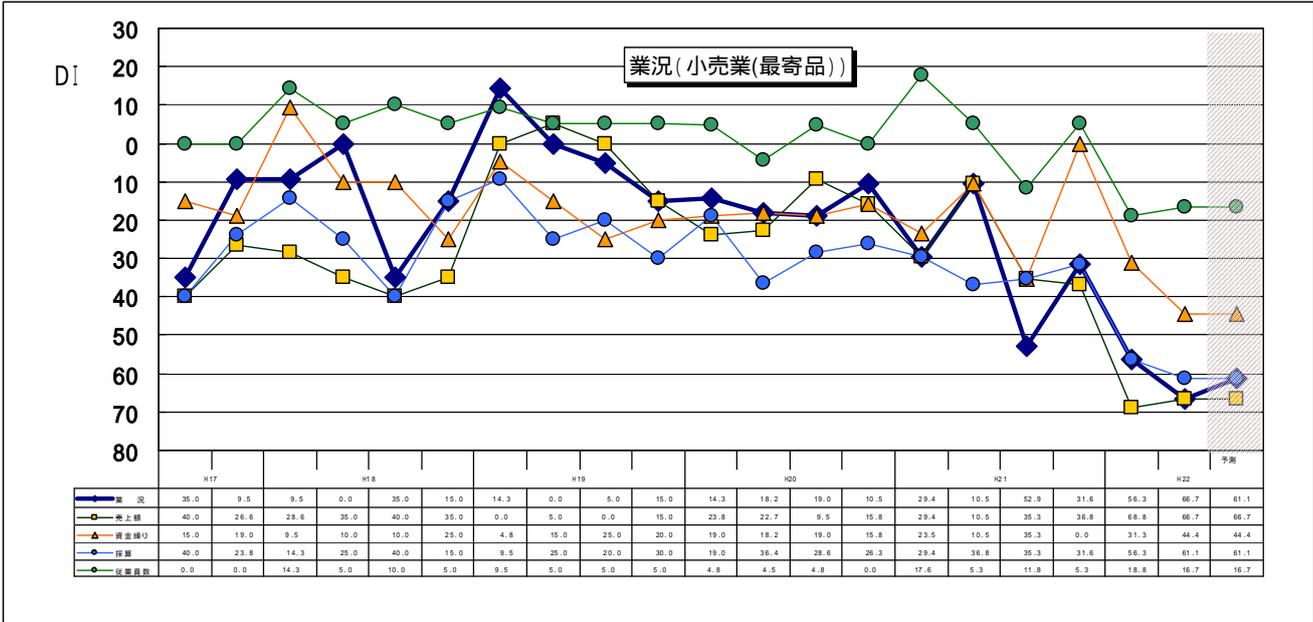
「真摯さはごまかせない。組織の精神はトップから生まれる。組織が偉大たりうるのは、トップが偉大だからである。組織が腐るのはトップが腐るからである。木は梢から枯れる」

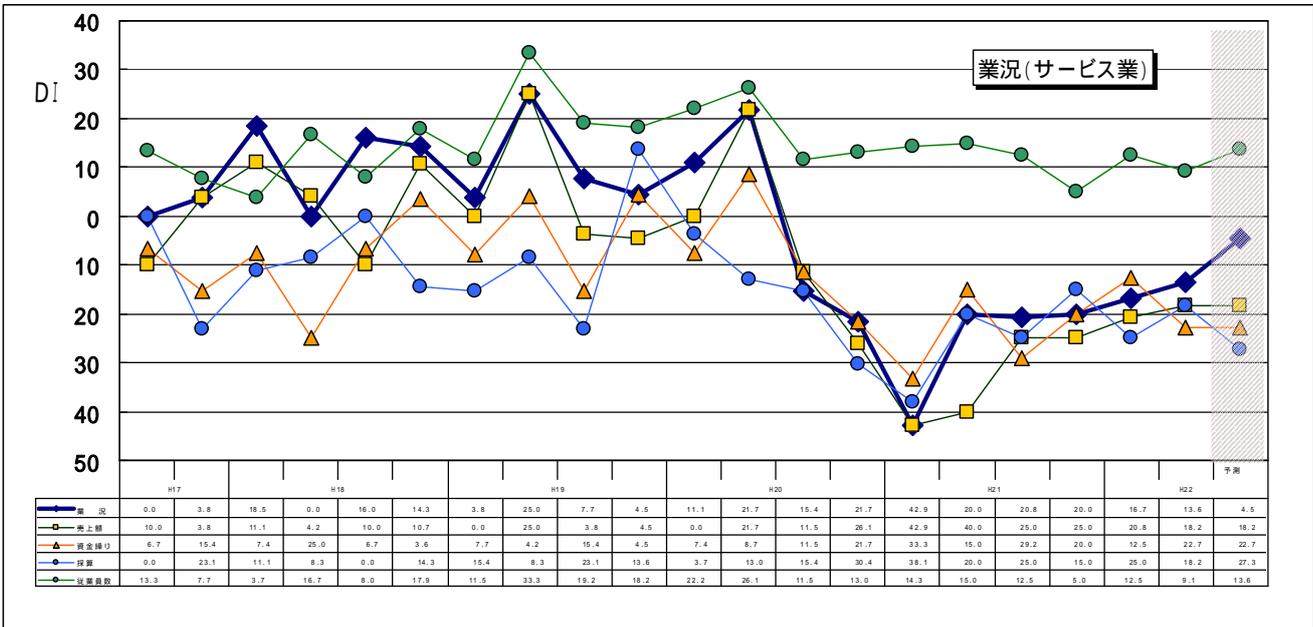
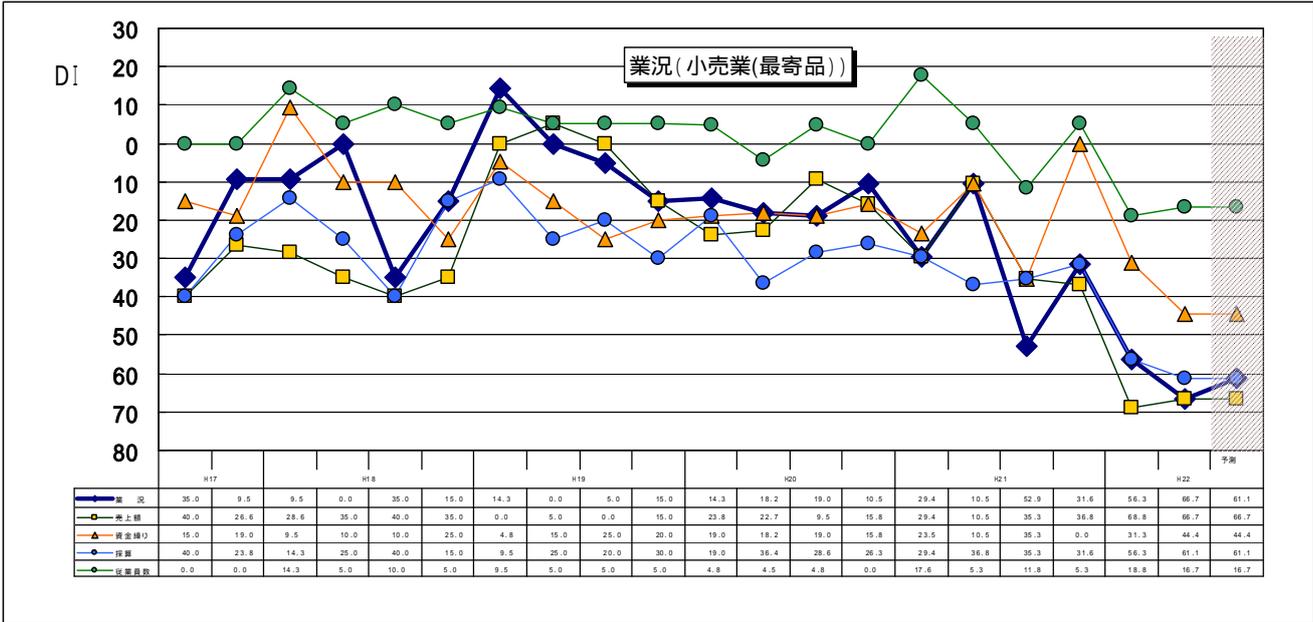
「イノベーションとは、科学や技術そのものではなく価値である。組織の中でなく、外にもたらす変化である。イノベーションの尺度は、外の世界への影響である」

高校野球の合間にでも、ドラッカーに触れてみませんか。

(TM 中小企業診断士)







設備投資

全業種	H17		H18				H19				H20				H21				H22				
	Ⅱ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	
OA機器	6	12	10	7	15	11	2	13	7	12	6	5	6	4	12	3	8	5	4	7	8		
機械設備	11	11	8	5	9	10	3	10	8	11	9	5	8	5	6	4	7	5	2	4	0		
車輻運搬具	8	6	2	6	12	4	5	9	7	6	5	3	4	7	2	7	4	6	1	3	3		
建物	4	4	4	5	6	9	4	3	6	4	6	3	5	2	1	2	1	2	1	1	0		
子その他	0	0	1	0	1		4	2	1	2	3	1	2	3	3	1	1	3	0	1	2		

製造業	H17		H18				H19				H20				H21				H22				
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	
OA機器		2	2	2	3	2		2			2	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1
機械設備	1		1	1		2	1	1			1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
車輻運搬具	3								1		0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
建物		1	1						1		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
子その他										1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

建設業	H17		H18				H19				H20				H21				H22			
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
OA機器	1	3	2	1	3			2	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	1
機械設備		2	2					1		1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0
車輻運搬具	3	2	1	4			1	4	2	2	2	0	1	2	0	3	1	2	1	1	1	1
建物			1	1		1	1	1	1		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子その他							1			1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0

小売業 (優待品)	H17		H18				H19				H20				H21				H22			
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
OA機器	2		1		1	1	1	3	2	3	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1
機械設備	3	1	2	1	1	1	1	3	1	2	1	1	3	0	1	1	1	1	1	0	1	0
車輻運搬具	1	1	1	2	3	2	1	1	1	3	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1
建物	1	2	1	1	2	2	1			1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
子その他											0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

小売業 (百貨品)	H17		H18				H19				H20				H21				H22			
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
OA機器	1	3	3	3	4	3					0	0	1	1	0	0	1	1	1	2	2	
機械設備			1			1				1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
車輻運搬具					2	1	2				1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1
建物						1	1	2		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
子その他							2				0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

飲食業	H17		H18				H19				H20				H21				H22			
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
OA機器					3	2	1	2	1	1	0	0	1	0	1	0	2	1	1	1	1	1
機械設備	6	6	2	2	4	4		4	6	5	5	4	3	2	3	2	2	1	0	3	0	
車輻運搬具		1		2	3	1	1	2	1		0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	
建物	1	1	1	3	4	3	1		4	2	3	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0	
子その他			1		1	0	3				2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	

サービス業	H17		H18				H19				H20				H21				H22			
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
OA機器	2	4	2	1	3	3	0	4	3	5	2	3	2	1	5	0	4	0	0	1	3	
機械設備	1	2		1	2	2	1	1	1	1	0	0	1	2	1	1	3	2	0	0	0	
車輻運搬具	1	2			2				2	2	1	1	1	1	2	1	2	1	1	0	1	
建物	2					2					0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
子その他											0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	2	